

平成18年6月議会



★県道3路線の道路改良の促進について、本年度事業にあわせてどの程度の予算化ができるのか。

県に対し、合併効果を早く出すために早期改良を強く要望しています。平成18年度についても予算が認められており、改良工事を実施予定ですが、完成断面とはなりません。引き続き強く要望していきます。

★台風23号による森林災害について、現状の復旧状況ならびに二次災害危険箇所への対策はどうなっているか。

国の激甚災害の指定を受けて、森林災害復旧事業や指定被害地造林などの造林事業で国・県の補助を受け、また、町の上乗せ補助制度を創設し、県森林組合とも連携して早期復旧に取り組んでいます。

危険箇所については、町の情報等をもとに、県民局で風

倒木災害対策状況をまとめ、危険度に応じて3段階に分けたマップを関係機関に配布し、各機関の情報共有により監視する体制をとっています。

★幼稚園、保育所の一元化についての町の対応はどのようなものになるのか。

当町においては、今年4月から機構改革により保育園の業務が教育委員会移管となっています。今後県より示される認定こども園の細部指針に基づいて、各保育園において幼稚園の幼児教育のカリキュラムを年長組に取り入れることにより、小学校教育のよりスムーズな導入に向けて取り組んでいくことが良いと考えています。

★南小学校校舎に雨漏りや腐食などが見られ、限界が来ている。一日も早い改修を望むが、今後の予定を聞きたい。

子供の安全確保あるいは地

域の避難場所としての役割を有していることから、改修の必要性については認識しています。財政状況を見極めながら対処していきたいと思っています。

★平成16年度より設置した子供と親の相談員の成果を聞きたい。また、退職した経験豊かな先生にお願いして、ボランティアに近い形で相談員と同様な位置づけはできないか。

岡山県の委託を受け、校長経験者を町内の2つの小学校へ配置し、児童等への相談と保護者、学校の対応策を模索してきました。

この2年間の取り組みの中で、各校の校長をはじめ、全ての教職員が共通の認識を持ち、問題解決の取り組みにあつていきます。

相談員を配置しての対応は肝要ですが、校長をはじめ現場で直接関わっている教職員がこの問題に取り組むことが必要と考えています。

★地域の安全対策について、最近理由の無い子供の不幸な事件・事故などが多発している。自衛の手段として、防犯ステッカーの配布や、詐欺被害を未然に防ぐための相談セ

ンターを町に設置してはどうか。

現在鏡野町では、常時在宅されている方に「子供を守る110番の家」としてステッカーを貼り、町内全域で258戸を選定しています。また、防犯マグネットシートを約300枚作成し、公用車への貼付や教職員、PTAなどに配布しています。また、独自にPTAその他の団体で自主的に作っているところもあります。

相談センターについては、町独自のものを設置するとなると、専門的知識を要する職員の配置などを必要とするため、現段階では考えていませんが、町民課での対応や、専門的な知識を早く習得し、さまざまな問題に対応するよう今後努力をしていきたいと思っています。

★合併後、住民サービスの低下が危惧されているが、一部の管理職の住民への対応に不適切な対応がある。職員の教育研修はどのように行われているのか。

そのような事があつてはならないこととして、十分に気をつけていきたいと思っています。対策としては、講師を招き、

町独自の研修も必要になるかと思っています。今後も職員の資質の向上に努めていきたいと思っています。

★現在鏡野町がごみ処理を依頼している津山圏域西部衛生処理組合の処理能力は残り何年ぐらいあるのか。また、その後の対策はどのようなになっているのか。

平成16年度の廃棄物処理法の改正に伴い、現在西部衛生施設組合の最終処分場は使用しておりません。そのため現在三重県の業者に依頼し、持ち出し処理しています。処理能力については、当分は可能であると聞いています。

その後の対策としては、現在津山市で候補地を選定しておりますが、難航しているのが現状です。

★今年4月より始まった放課後児童クラブの現状はどのようなになっているのか。今後の計画と取り組みを聞きたい。また、福祉センターの内部が一部改造されると聞いているが、放課後児童クラブとの関係はあるのか。

南小学校の児童を対象に、現在8名が利用しています。おおむね一年生から三年生の